

(様式1)

令和4年度 鳥取県立皆生養護学校 小学部 重複障がい学級 教育課程

1 教育目標 人とのかかわることや、学ぶことが大好きな子どもを育てる ～将来をイメージした今の QOL の向上～

- 2 努力点・重点
- ・児童理解に努め、個の発達に応じた指導の充実を図る。
 - ・継続、発展していく体験的活動を推進して、自主性、社会性の育成を図る。

3 年間授業時数等

指導の形態	教科等	努力点						I 型	II 型	III 型	
										A	B
教科別領域別の指導	国語	・言語環境を整え、日常生活の中で使える表現の拡大を図るように努める。						140～ 175	70～ 105		
	算数	・生活経験と関連づけた具体的な操作活動を大切にし、日常の現象の中の数量や図形に気づき、感じ取る力を高め、学んだことを学習や生活に活用しようとする態度を養う。						140～ 175	70～ 105		
	音楽	・音楽的な芽生えを大切にし、身体表現・歌唱・鑑賞・器楽等の活動を通して、音楽の楽しさを味わうことができるように努める。						70	70	35	0～35
	図画工作	・身近な材料や用具を使った造形活動を通して、造形表現についての興味や関心をもち表現の喜びを味わうことができるように努める。						70	70		
	体育	・教材教具を有効に活用し、身体を動かすことの喜びや、友達とかかわる楽しさを味わうことができるように努める。						35	35		
	自立活動	・一人一人の教育的ニーズに基づいてねらいを明確にし、指導内容および指導方法の充実を努める。 ・生活全般を通して指導の充実を努める。 ・家庭や施設との連携を図り、個に応じた適切な指導に努める。						187～ 467	222～ 537	502～ 782	187～ 747
各教科等を合わせた指導	日常生活の指導	・日常生活に必要な基本的生活習慣の定着を図る。						0～175	140～ 175	175	0～ 175
	生活単元学習	・児童の興味・関心に基づいた題材や遊びを通して、生活経験を豊かにする。 ・人や物へのかかわりを促し、自発的・自主的に活動しようとする意欲を育てる。						140～ 210	140～ 280	35～ 105	0～ 105
	ゴーゴータイム	・音楽に合わせて身体を動かしたり器具や遊具等を使ったりする活動を通して、音楽や動きの変化に気づき、その楽しさを感じられるようにする。 ・集団で楽しく活動する経験を通して、身近な人々への意識や関わりを広げられるようにする。								35	35
	こく・さん・じかつ	・個々の児童の実態に応じ、教材を使いながら教科や自立活動を関連させながら認知学習を行い、基礎的学力の定着を図る。								35～ 105	35～ 70
特別の教科 道徳		・指導方法の工夫に努め、道徳的心情を高めるとともに、周囲とのかかわりの中でよりよく生活しようとする態度を育てる。									
計								930～ 1062	930～ 1062	930～ 1062	607～ 782
特別活動	学級活動	・健康や安全に関わる活動を通し、よりよい学校生活を送ることができるように努める。 ・集団で活動する楽しい体験を通して、自発的に活動しようとする意欲を育てる。						35	35	35	35
	クラブ活動	・興味や関心のある活動を通して生活経験を広げる。 ・集団活動の中で、役割を担ったり、人との関わりを持とうとしたりする意欲を育てる。						4年生以上 10			
	学校行事	4月	着任式 始業式 入学式 身体測定	7月	終業式	10月	避難訓練 皆生・ブライト・フェスティバル	1月	始業式	年間時数	年間時数 1年：32 2年：35 3年：35 4年：41 5年：41 6年：34
		5月	避難訓練 校外学習 宿泊学習	8月	始業式	11月		2月			
		6月	皆生スポレク祭	9月	校外学習	12月	終業式	3月	卒業式 修了式 離任式		

- 4 児童の実態、特性
- ・障がいは肢体不自由・病弱に併せ、重度・重複化、多様化傾向にあり、生活全般に介助を要する。
 - ・障がいがあるため行動が制約される傾向にあり、体験の拡大に支援を要する。
 - ・日常的に医療的ケアを必要とする児童が多く、さらには体調や学習への体勢を整える上で、体調の変化等のケアや見守りの時間を長時間必要とする重度障がいの児童がいる。
 - ・全員が知的障がいを併せ有し、知的障がいの各教科や自立活動における個に応じた指導方法の工夫が必要である。
- I 型：中程度の知的障がいを有する児童が多く、知的障がいの各教科を中心にした指導が適している。
- II 型：重度の知的障がいを有する児童が多く、知的障がいの各教科と自立活動を組み合わせた指導が適している。
- III 型 A：より重度の知的障がいを有する児童が多く、個々の児童の課題解決のためには自立活動を主とした指導が適している。
- III 型 B：より重度の知的障がいを有する児童が多く、個々の児童の課題解決のためには自立活動を主とした指導が適している。
- 併せて日常的に医療的なケアを必要とし、体勢等を整えた上での指導が適している。

5 各教科等を合わせた指導について

日常生活の指導	I 型：生活、国語、算数、体育、道徳科、自立活動、特別活動
	II 型：生活、国語、算数、体育、道徳科、自立活動、特別活動
	III 型 A：生活、国語、算数、音楽、体育、道徳科、自立活動、特別活動
	III 型 B：生活、国語、算数、音楽、図画工作、体育、道徳科、自立活動、特別活動
生活単元学習	I 型：生活、国語、算数、音楽、図画工作、体育、道徳科、自立活動、特別活動
	II 型：生活、国語、算数、音楽、図画工作、体育、道徳科、自立活動、特別活動
	III 型 A：生活、国語、算数、音楽、図画工作、体育、道徳科、自立活動、特別活動
	III 型 B：生活、国語、算数、音楽、図画工作、体育、道徳科、自立活動、特別活動
ゴーゴータイム	III 型 A：生活、音楽、体育、道徳科、自立活動
	III 型 B：生活、音楽、体育、道徳科、自立活動
こく・さん・じかつ	III 型 A：国語、算数、道徳科、自立活動
	III 型 B：国語、算数、道徳科、自立活動

6 特色ある教育活動

- ・本校と近接する 3 小学校（福生東・福生西・福米西）、児童の出身地小学校、及び、本校周辺地域との交流及び共同学習を推進し、経験の拡大と社会性の育成に努めている。

7 備考

〈授業日数〉

月 学年	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
1 年	14	19	22	14	4	20	20	20	16	15	19	17	2 0 0
2 年～5 年	16	19	22	14	4	20	20	20	16	15	19	17	2 0 2
6 年	16	19	22	14	4	20	20	20	16	15	19	7	1 9 2

- ・1 単位時間は 4 5 分とする。
- ・道徳教育にあつては、全教科全領域において指導する。
- ・個に応じた指導を重視し授業時間数に幅をもたせ、教科・領域等の時数は児童の実態を考慮して決定する。
- ・給食時間に給食指導を毎日 3 0 分、自立活動として実施する。総計 1 1 7 時間とする。

8 「重複障害者等に関する教育課程の取り扱い」の適用（該当のある場合は、適用欄に「○」を、詳細欄にその具体を記入すること。該当のない場合は、空欄にすること。）

小学部・中学部学習指導要領第 1 章第 8 節

取扱い	適用	詳 細
1（1）		
1（2）		
1（3）		
1（4）		
1（5）		
1（6）		
2		
3	○	知的障がいを併せ有するため、各教科の目標及び内容の全部を知的障がいの各教科に替える。 また、外国語科及び総合的な学習の時間を設けない。
4	○	児童の発達の状態に応じ、各教科に替えて、自立活動の指導をする。
5		
6		